

★暗唱聖句

「国が内輪で争えば、その国は成り立たない。」

マルコによる福音書 3章 24節

★ねらい

- ① 律法学者たちは、イエスが悪霊を追い出しているのは、イエスが悪霊の頭だからであると考えたが、これに対し、イエスは「どうして、サタンがサタンを追い出せよう」と言われた。律法学者たちが考えたようにではなく、イエスが、愛を持って私たちの心に来てくださることを考えたい。
- ② 「聖霊を冒瀆する者は永遠に赦されず」は、難しい箇所である。イエスを救い主として信じるためには、聖霊の働きが不可欠であるから、聖霊を否定しては、イエスによる救いを得られないということか。

★豆知識

- ・「身内の人たち」：この頃、父ヨセフは死んでいたと考えられている。マルコ 6 : 3によれば、イエスには4人の弟と2人以上の妹がいたことになる。
- ・「ベルゼベル」：悪霊の頭の名前、サタンの別名。

★説教

問題(クイズ)です。私たちは教会でいつもイエス様のお話を聞いています。それでは、イエス様がおられるのは、どこでしょうか。1番、天におられる。2番、目に見えないけれど、私たちのすぐそばにおられる。3番、私たちの心の中におられる。1番だと思う人？ 2番だと思う人？ 3番だと思う人？ ……正解は、1番と2番と3番です。みんな、正解なんだ。イエス様は、天におられるし、私たちのすぐそばにもおられるし、私たちの心の中にもおられます。

今日は、その中の3番、私たちの心の中におられるということを、考えたいと思います。

イエス様は、私たちの心の中にいてくださるんだけど、私たちの心の中に無理やり入ってきたりはなさいません。無理やり入ってくるのは、強盗です。無理やり入ってきて、私たちに心の中にある優しい気持ちや、素直な気持ち、イエス様を喜ぶ気持ちを奪い取っていかうとするんだね。

イエス様は、私たちの心の中に来てくださって、そんな優しい気持ちや素直な気持ちを奪っていかうとする強盗を追い出してくださるんだけど、さっき言ったように、イエス様は、無理やり入って来られません。私たちが自分の心にイエス様に来ていただきたいと思うときに、イエス様は来てくださるんだね。

こんな話を聞いたことがあります。私たちの心には、扉がついています。扉の中が私たちの心です。扉には、普通、取っ手(ノブ)が付いているよね。だけど、心の扉には、内側にしか取っ手が付いていないんだって。だから、扉を開けることがで

きるのは、内側にいる自分だけなんだ。(強盗は、窓なんかから、無理やり入ってくるのかな。)そして、イエス様は、私たちの心の扉の前に来て、扉をノックされるんだよ。「〇〇さん、あなたの心に来ましたよ」って。だけど、扉には、取っ手がついていないから、イエス様から扉を開けて、私たちの心に入ってくることはできないんだね。私たちが、内側から扉を開けて、イエス様をお迎えしなければ、私たちの心には、来られないんだ。

イエス様は、私たちの心に来てくださって、私たちにうれしい気持ちや安心する気持ち、優しい気持ちや、素直な気持ちをくださろうとしています。いつもです。いつも、イエス様は、私たちの心の扉をノックしてくださっているんだね。私たちが喜んで、イエス様を自分の心にお迎えしたいと思います。イエス様と一緒に、安心して、うれしい気持ちになって、周りにも優しくなれて、みんなが優しい気持ちになれたらいいですね。

★分級への展開

さんびしよう

* 讚美歌は”こどもさんびか”(日キ版)より

60番

改訂版7番

やってみよう

☆心の中を何でいっぱいにする?

<用意するもの>

赤・青など違う色の風船2つ

★ どちらかの風船(ここでは赤)を神さまに従う心に、また、もう1つの風船(青)をわたし達を神さまから引き離そうとするサタンに見立てる。たとえば、

- ・ 疲れて電車で座っているときに、おじいさんが乗ってきた!
- ・ 意地悪されている友だちを見た。声をかけようかな・・・どうしよう・・・。
- ・ 落とした荷物が散らばってしまった人を見かけた。急いでいるんだけど・・・。

こんなとき私たちの心の中に膨らんでいるのはどちらの色の風船だろう?

どちらの色の風船を膨らませたい?

1つの心の中で2つの風船を膨らませたりしぼめたりしながら心の動きをみんな考えてみる。

★ 「今、ここにイエス様がいたら、どうさなさるだろうか」をひとつのヒントとして示す事もできる。

★ 結びに「かみさまが喜ぶ事ができる子どもにしてください」、と心を合わせて祈る。

★暗唱聖句

「それは、からし種のようなものである。」

マルコによる福音書 4章 31節

★ねらい

- ① 神の国の成長を、単にこの世の教会の拡大とだけ捉えるのではなく、神の愛が広がっていくこととして、考えてもよいであろう。
- ② 私たちが神の国の成長を実感することは、あまりないかもしれないが、これはイエスの約束であるということを受け止めたい。

★豆知識

- ・「神の国」：神の国は、神の支配のことである。しかし、自分の権威と名声を求めることの多いこの世の支配者のようではなく、民の平和のために、独り子をも十字架に渡される神の愛の支配を考えてよい。
- ・「からし種」：1mmにも満たない種であるが、成長すると3~4mにもなる。

★説教

日本のお隣の国は、韓国です。私たちに、イエス様のことを伝えてくれた国は、アメリカやフィンランドです。大きな国もあれば、小さな国もあります。世界には、およそ200の国があります。けれども、今日のお話は、世界地図には載っていない国、「神の国」のお話です。

イエス様は、この神の国は、からし種のように成長しますと言われました。からし種は、小さな、小さな種です。けれども、どんどん成長して、家の屋根に届くくらいの大きさにもなるのだそうです。と言っても、地図に載っていない神の国は、いったい、どこにあるのでしょうか。

神の国は、今、この教会にもあるし、私たち、一人ひとりの心の中にもあります。一人、一人、思い浮かべて欲しいと思います。私たちの心の中には、いつもニコニコのイエス様がいてくださり、私たちのことをいつも大切に思っていてくださっています。そして、そのことを私たちが知っているなら、神の国は、私たちの心の中にあるんだね。

この神の国が、からし種のように、どんどん大きくなっていくということは、心の中にいてくださるイエス様の優しさが、私たちにも伝わって、私たちもニコニコになり、自然と自分の周りにはいる人たちに優しくできるということを考えてもいいと思うんだ。

だけど、私たちの心の中には、この優しいイエス様の心が、大きくなっていくのを邪魔する意地悪な気持ちがあるんだね。イエス様が、一生懸命、私たちの心の中

で、優しい心を大きくしてくださろうとしても、私たちが、自分の意地悪な気持ちをほったらかしにしていたら、なかなか、イエス様の優しい心は広がっていかないんだね。だから、ごめんなさいという気持ちになって、私たちの意地悪な気持ちが、イエス様の優しい心が広がるのを邪魔しないように、イエス様に助けていただかなくてはいけないんだ。

イエス様の優しい心が大きくなれば、みんながニコニコになるって分かっているのに、どうしてイエス様の優しい心は広がらないんだろう。でも、神の国がどんどん大きくなるっていうことは、イエス様がお約束してくださったことだから、イエス様のお約束を信じて、私たちの意地悪な気持ちが邪魔をしないように、私たちも小さなイエス様のお手伝いをしたいと思います。いつか、世界中のみんなが、優しい気持ちで、ニコニコになればいいね。

★分級への展開

さんびしよう

* 讚美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

90番

126番

やってみよう

☆ 小さな種を蒔こう！

とても小さな種が、やがて成長して花を咲かせるのには神さまの業があることを実感できるような体験をする。小さな種に秘められている、力強い生命力は、神さまによって成長するのだということを知る。数ヵ月後に食べられるトマトなどの野菜も楽しい。

<用意するもの>

種(できるだけ小さなもの)

小さな植木鉢

土、培養土 など。

★毎日誰かが水やりなどの世話ができるようにし、折に触れ、成長をみんなで見守る。

★暗唱聖句

「風を叱り、湖に、『黙れ。静まれ』と言われた。」

マルコによる福音書 4章 39節

★ねらい

- ①自然をも支配されるイエスの姿が記されているが、そのイエスの力に期待するのではなく、イエスと共にいることの平安を伝えたい。
- ②恐れるなというのとは、恐れない強さを持つ者になることでなく、イエスが共にいてくださることを知っているということである。

★豆知識

- ・「湖」：ガリラヤ湖のこと。ガリラヤ湖には、ときどき、突風や大波の起こることがあるようである。
- ・「風を叱り」：自然をも支配されるイエスの姿である。コロサイ 1 : 16には「万物は御子によって、御子のために造られました」とある。また、ニケア信条にも「すべてのものは主によりて造られたり」とある。

★説教

イエス様とお弟子さんたちは、小舟に乗ってガリラヤの湖を渡ろうとしていました。お弟子さんの中の、ペトロさん、アンデレさん、ヤコブさんやヨハネさんは、イエス様のお弟子さんになるまで、ガリラヤ湖で、魚を捕る漁師として働いていましたから、みんなは舟でガリラヤ湖を渡ることなど簡単なことだと思っていました。もう日が沈みかけていましたが、空に雲はなく、夕焼け空です。風もありません。舟はゆっくりと進んでいきます。舟に乗るまで、今日一日、大勢の人がイエス様の周りに集まっていたので、イエス様もお弟子さんたちも大忙しだったのです。だから、少しほっとした気分で、舟に乗っていました。

そんな時、突然が、強い風が吹き出したのです。今までの穏やかさが嘘のようです。風は強まるばかりです。波もだんだん大きくなってきます。それでも、ペトロさんたちは平気です。「まかしといてください」と波に大きく揺れる舟を操っています。けれども、風は強まるばかり、波も大きくなるばかりです。漁師だったペトロさんたちも、だんだん不安になってきました。もう、人の背より大きな波が舟を襲ってきています。舟の中は、水浸しです。ペトロさんたちが、いくら頑張っても、舟は言うことを聞きません。みんな、大慌てです。その時、お弟子さんたちは、イエス様が舟の後ろの方で、眠っておられるのを見つけました。お弟子さんたちは、イエス様にむかって叫びました。「イエス様！ 私たちがおぼれてもかまわないのですか！」 お弟子さんたちは、こんな大変な時に、何もしてくれないイエス様

に、お弟子さんたちは怒ったのです。

イエス様は、起き上がり、湖に向かって「黙れ。静まれ」と言われました。すると、それまでの強い風と大波が、突然おさまり、穏やかになりました。びっくりしているお弟子さんたちにイエス様は静かに言いました。「まだ、信じていないのですか。」

イエス様は、お弟子さんたちのことをどのように思っておられたのでしょうか。強い風と大きな波を怖がって、大騒ぎしていたお弟子さんたちは、イエス様が一緒にいてくださることを忘れていたのだと思います。そして、イエス様が一緒にいてくださることを思い出したとたん、「おぼれてもかまわないのですか！」とイエス様に怒ったのです。そんなお弟子さんたちに、イエス様が「私が一緒にいるから大丈夫だよ」ということを伝えようとされたんだね。

嵐のような日、怖いなと思うことは、私たちもあると思います。けれども、そんなときにこそ、大騒ぎをしないで、心を静めて、「イエス様、一緒にいて、守ってください」とお祈りをするのが大切なんだね。

★分級への展開

さんびしよう

* 讚美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

88番

40番

やってみよう

☆ お祈りカードを作ろう

弟子たちに本当の信仰がない事をイエスさまはご存知でした。きっと弟子たちもドキッとしたことでしょう。礼拝の時や教会の中だけでなく、お祈りは、いつでもでも出来るのです。神さまに親しく話しかけるようなお祈りカードを作ってみましょう。

<用意するもの>

紙(好みの色、大きさで。小さな子どもが書く場合は、大きめの方が良い。)

★「神さま、うれしいことがありました。」

「神さま、今悲しいきもちです。」

「神さま ありがとうございます。」

「神さま、こわい事があります。」など、はじめの一言をいくつか用意し、

その中から今の気持ちにピッタリなものを選ぶ。

★何を祈ってよいのかわからない時は、イエスさまが教えてくださった主の祈りがあります。結びにみんなで主の祈りを唱えても良いでしょう。

★暗唱聖句

「タリタ、クム」

マルコによる福音書 5章 41節

★ねらい

- ①この箇所は「ヤイロの娘」のいやしと、「イエスの服に触れた女」のいやしの二つの出来事が記されている。ここでは、「ヤイロの娘」の出来事を中心に据えることにする。どちらにも触れてもよいし、片方にだけ触れてもよいであろう。但し、両方に触れる場合は、話の中心をどちらかに絞った方がよい。
- ②娘が死んだと聞いて、ヤイロは望みを失ったに違いない。しかし、イエスは「ただ、信じなさい」と言われた。私たちの思いでは、あきらめるしかないように思える出来事であっても、あきらめずにイエスに委ねていくことの大切さを伝えたい。

★豆知識

- ・「会堂長」：人々の宗教生活の中心であった会堂で行われる礼拝や運営や、その建物の監督、管理を行っていた。
- ・「出血」：レビ 15:25 には、出血の止まらない女性に触れると「汚れる」と規定されている。
- ・「十二年間」と「十二歳」：出血の止まらない女性が病にかかっていた年月と、少女の年齢が同じ十二年である。病を考えると長いと思えるし、少女の命を思うと短いと感じる。

★説教

ヤイロさんは、走ってきました。ヤイロさんの娘、十二歳になる女の子が病気のために死にそうだったのです。病気を治してくださるイエス様が、隣の町にこられると聞いて、急いで走ってイエス様の前にやってきたヤイロさんは、ひれ伏して、「イエス様、私の娘が病気で死にそうなのです。どうか、直してやってください」とお願いをしました。イエス様は、ヤイロさんの言葉を聞いて、すぐに隣町のヤイロさんの家に向うことにしました。ヤイロさんとイエス様、その後ろにイエス様のお弟子さんたちや大勢の人がついてきます。ヤイロさんは、こうしている間にも、娘が死んでしまったりはしないだろうかと、心配でたまりませんでした。

途中で、イエス様が立ち止まりました。ヤイロさんはどうしたのだろうと後ろを見ました。イエス様は、振り返って「わたしに触ったのはだれですか」と、後ろからついてきていた大勢の人たちを見えています。誰かが、イエス様の服に触って、イエス様から病気を治す力が出ていったというのです。お弟子さんが言いました。「こんなに大勢の人がついてきていたのですよ。誰が触ったかは、分からないんじゃないでしょうか。」ヤイロさんも心の中で「そうです。イエス様、早く行きましょう」

と何度も繰り返しました。けれども、イエス様は、大勢の人々を見えています。

すると一人の女の人が、「触ったのはわたしです」とイエス様の前に進み出て、どうしてイエス様に触ったのかということ話し出したのです。ヤイロさんは、待つしかありません。やっと、女の人とイエス様との話が終り、出発しようとした時です。ヤイロさんの家から何人かの人がやってきて、「お嬢さんは亡くなられました」と言ったのです。ヤイロさんは「あー、間に合わなかった」と、がっくりしました。けれども、そんなヤイロさんにイエス様は「心配することはありません。ただ、信じなさい」と言われたのです。そして、ヤイロさんの家に行き、女の子のいる部屋に入りました。イエス様は、女の子の手をとって「タリタ、クム」と言われました。「少女よ、あなたに言います。おきなさい」という意味です。すると、女の子は、起き上がったのです。

ヤイロさんは、女の子のことをとても心配していました。けれども、イエス様も、女の子のことも、ヤイロさんのことも、とても大切に思い、心配していたのです。そして、イエス様はヤイロさんに、どんな時にも、あきらめずにイエス様にお願いし続けることの大切さを教えたんだね。イエス様は、私たちのことも、大切に思っています。どんなときに、もうだめだと思うようなときにも、イエス様が私たちのことを大切に思っていてくださることを忘れないでください。

★分級への展開

さんびしよう

* 讚美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

6 1 番

1 3 0 番

やってみよう

☆ 起きなさいとの声を聞こう

★横になった子どもに「〇〇(子どもの名前)、クム」と呼びかけ、手を引いて起こす。

★イエスさまの「～しなさい」という言葉をいくつか思い出してみる。

「わたしにつながっていなさい」ヨハネ 15:4

「互いに愛し合いなさい」ヨハネ 15:17

聖餐式のときの「取って食べなさい」「取って飲みなさい」も牧師の言葉ではなくイエス様の言葉であることを改めて考える。

★少し大きい子どもには・・・。

イエスさまから呼びかけられる「起きなさい」と何か。

その人によって違う意味を持つのかもかもしれない。

(心を開く。暗い気持ちから抜け出す。平安な心で過ごす。)

教会に来ている大人の人にも聞いてみよう。